

【Ⅱ子どもをはじめ若い世代を対象】

赤シャツダンサーズ 事業詳細

事業名	Giselle～そう遠くない未来、私はオムツを履くだろう～		交付決定額	140,000円	
趣旨・目的	本事業は、老いと介護をテーマに、多世代によるダンス表現を通じて「受容」について考える機会を創出するものです。赤ちゃんと高齢者に共通する「おむつ」に着目し、古典バレエ『ジゼル』を再解釈。年齢や身体状況に関わらず、人間の生と死、関係性の変化を身体で表現する作品を創作します。併せて若者向けに介護を考えるワークショップを実施し、ヤングケアラーや福祉に関心のある若い世代の学びの場ともなることを目的とします。				
実施内容	演目・曲目等 原作:古典バレエ「ジゼル」 作曲:アドルフ・アダン 『Giselle -そう遠くない未来、私たちはオムツを履くだろう-』赤シャツダンサーズ & Kyoto Dance Exchange(KDE)、『ジゼル』イマ☆タカ Dance Family Selection 構成・出演者・主なスタッフ等 / 展示作品の種類・点数、主な作品名・出品者名等 『Giselle -そう遠くない未来、私たちはオムツを履くだろう-』赤シャツダンサーズ & Kyoto Dance Exchange(KDE) 構成・演出:市川まや 振付:赤シャツダンサーズ/KDE 出演:井手上里美、江川浩二、児島美緒、坂田久枝、島澤いづみ、菅原美、堀井隆司(赤シャツダンサーズ)/乾光男、北川道裕、黒田隼太、桜井桜子、佐野淳代、高田育子、田中敦子、谷裕美、土井礼子、堤英津子、福永祐美(Kyoto Dance Exchange)/石上正和、神原ゆかり、高森泰行、中村信芳、平野晴美、吉松昌則(公募出演) 『ジゼル』イマ☆タカ Dance Family Selection 構成・演出・振付:今村貴子 出演:今村貴子、柏木郁乃、児島美緒、小鉢有紀、小林万祐、正蔵寺尚美、菅原美、鶴崎茉莉、徳永由布子、樋渡圭介、前田秀子、山元奏海 応援出演:北村成美(赤シャツダンサーズ名誉監督) 制作:松本京子 音響:銀杏踏男 照明:Lighting office “O”				
	実施日時	令和8年2月22日(日)14:00、 22日(日)18:30、 23日(月・祝)11:00	実施回数	3	
実施会場 (会場住所)	旧古河鉱業若松ビル 多目的ホールA (北九州市若松区本町1-11-18)	参加人数	観客①46人②45人③47人 出演者35人・スタッフ8人 合計181人		
実施の成果	助成金活用による工夫や実施の成果 本事業では、助成金を活用することで照明・音響などの舞台技術環境を整備し、公演として必要な上演環境を十分に確保することができた。専門スタッフ(制作・音響・照明)がそれぞれの役割を担う体制を整えたことで、公演準備から本番まで円滑に運営することができ、安定した舞台環境のもとで質の高い上演を実現することができた。 広報面では、チラシを多くの公共施設や文化施設等に配布したことにより、公演の認知を広げることができ、結果として幅広い層の来場につながった。当初は赤シャツダンサーズとKyoto Dance Exchangeのみでの上演を想定していたが、公募出演者や別カンパニーが参加したことで出演者の世代や背景が広がり、多世代による舞台作品として上演することができた。その結果、観客層も多様化し、子どもから高齢者まで幅広い世代が来場したほか、会場配慮を必要とする障害のある方にも鑑賞いただくことができた。 また、2つのカンパニーによる異なる視点の『ジゼル』を同一公演内で上演するという構成により、観客にとってはこれまで触れる機会の少なかったジャンルや表現方法に出会う機会となり、作品のテーマや表現の違いを比較しながら鑑賞することができる公演となった。これにより、舞踊作品に対する理解や関心を広げる機会を創出することができた。 さらに、公演前に実施した観客へのワークショップでは、椅子に座って行うバリアフリーなダンスを体験する機会を設け、身体状況に関わらず参加できるダンスのあり方を紹介することができた。ワークショップを通じて観客と出演者の距離が近づき、公演をより身近に感じながら鑑賞できる環境づくりにもつながった。 本作品は、介護や身体の変化といった人生の中で誰もが直面する可能性のあるテーマを扱っているが、会場では気軽にアンケートを記入できる環境を整えたことで、観客が作品をどのように受け止めたのかを可視化することができた。アンケートを通じて観客の感想や受け止め方を共有する機会が生まれ、出演者と観客双方にとって作品のテーマについて考える契機となった。 これらの取り組みにより、本事業は多世代・多様な背景を持つ人々が舞台芸術を通して交流し、身体表現や人生のテーマについて考える場を創出することができたと考えている。				
	活動の様子				
					
最も注力した 年齢層(計画)	40歳以上	参加者等の主な 年齢層(実績)	40歳以上	18～39歳	6～11歳
(共催・後援・協賛 関係機関がある場合) 名称と役割	後援:北九州市、北九州市教育委員会 協賛:歴史・文学の宿 千歳楼、都島肩こり腰痛センター、有限 KAJI、製鉄記念八幡病院				